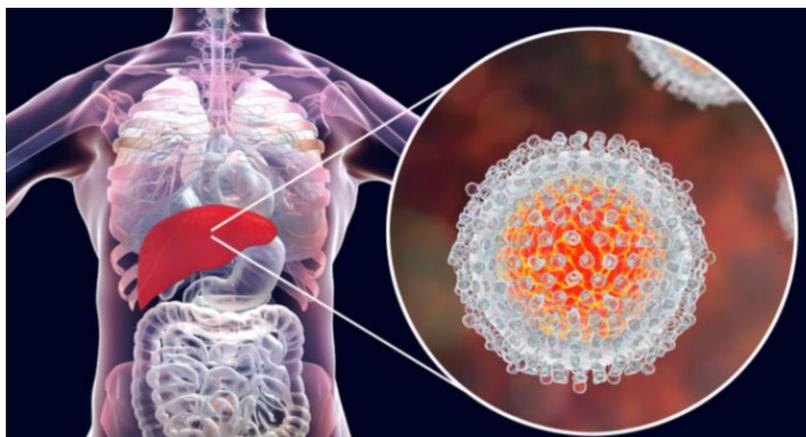


C型肝炎治療薬で肝臓がん死亡低下

フランスの慢性C型肝炎ウイルス（HCV）感染患者約1万例の前向きコホート研究で、直接作用型抗ウイルス薬（DAA）治療が、約3年後の肝細胞がんおよび死亡リスク低下と関連することが示され *Lancet* 誌に発表されました。



DAA 治療により全死亡リスクが 52%低下し、肝細胞がんリスクは 34%低下しました。